Hab. Kiusiu: Prov. Osumi: Isl. Yakusima (Typ. loc.) Prov. Satuma: Mt. Tōyadake, Mt. Sibisan.
Distr. Honsiu: Prov. Kii, Iwadamura. (Y. Doi.)

○亞種名ノ取扱ヒニ就テ（北川政夫）

種名ヲ亞種名ニ變更スル場合ニソノ種名ヨリ先ニ發表サレタ種以下ノ格ノ名ヲ起用セズ最初ノ種名ヲ亞種名ニ用キル人ガ多イ。例ヘバ最近館脇博士ハかせんさうノ學名ヲ次ノ如ク變更サレテキル。

"**Inula salicina** L. subsp. **Kitamurana** TATEWAKI, comb. nov.

Inula involucrata MIQUEL in Ann. Mus. Bot. Lugd.-Batav. II (1866), 171, (non KALEN).

Inula salicina L. var. *asiatica* KITAMURA in Act. Phytotax. et Geobot. II. (1833), 44.

Inula Kitamurana TATEWAKI in Bull. Res. Exp. For. Hok. Imp. Univ. X (1935), [146]."

郎チかせんさうヲ *Inula salicina* LINNÆUS ノ亞種ト考ヘル場合 var. *asiatica* ノ名ヲ選バズソレヨリ後ニ發表サレタ *Inula Kitamurana* ナル種トシテノ名ヲ用キラレテキル。コレガ私ニハドウモ腑ニ落チナイ點デアル。一體亞種トハ何カ。私ハ亞種ハ何處マデモ亞種デアツテ種デハナイ筈ダト思フ。コレヲ地方的ノ種デアルト考ヘルナラバソレハ誤リデアラウ。地方的ノ種ハ又別ニアル筈デ、亞種ハ種ト異リ亞種相互ノ間ニ出來タ子孫ハ必ズ繁殖力 (Fertility) ヲ有スルト云フ理論的ナ根據ガナクテハナラヌ。タトヘ一般ノ分類學者ガ一々實驗遺傳學的ナ實驗ヲナサズ暫定的ナ說ヲ出シテモソノ取扱ヒハ必ズ理論的ニ矛盾ノナイ方法ヲ採ルベキデアラウ。亞種ガ種以下ノ格デアル以上、他ノ變種ヤ品種等ト同格ニ取扱フノガ至當デコレヲ特別ナ考ヘデ律スルノハヨクナイト思フ。同一種類ノモノヲ或人ハ種ト考ヘ、或人ハ亞種ト考ヘルノハドチラカガ必ズ誤リデナクテハナラヌ。種ト種以下ノ單位トハ遺傳學的ニ嚴然タル區別ガアルノダカラ、我々分類學者ハコノ點充分ノ思慮ヲ拂フ必要ガアル。種ヤ種以下ノ單位ノ概念ニ對シテ動物學者ノ考ヘハ非常ニ進ミ、カヤウナ問題ニ熱心ナ人ガ多イガ植物學者殊ニ分類學者ハ考ヘガ封建的デ種ノ問題ニ對シテモ消極的デアルノハ殘念デアル。カヽル問題ハ別ニ今急ニ解決サルベキモノデハナイケレドモ、コレニ對シテ方法論的ニ常ニ着實ナ步ヲ進メテ行カナクテハ分類學ノ進步ハ望マレナイノデハナイダラウカ。特別ノ群ヲ專門ニ硏究スル人々ハ何ヨリモ先ヅカヽル問題ニ關心ヲ持チ自已ノ論說ニ理論的ナ根據ヲ持ツテ進ンデイタダカナクテハ私ノヤウナ地方植物硏究者ハ何日定マルトモ解ラヌ學名ノ混亂ニタダ戶惑ヒスルバカリデアル。生物ノ命名規約モカウシタ問題ヲ大體定メテカラデナクテハ迫力ガ薄イ。

○ひんじがやつり臺灣ニ產ス（鈴木時夫、飯尾 正）

フィリッピンニハおほひんじがやつり、ひんじがやつりノ 2 種ノひんじがやつり屬ヲ產スルガ、臺灣デハおほひんじがやつりノ產スルコトハワカツテキタガ、ひんじがやつりハ未ダ發見サレテキナカツタ。筆者等ハ今度ひんじがやつりガ臺灣ニ產スルコトヲ明カニシタ。此處ニ報告スル所以デアル。